

ハコポンプロジェクト 全国展開の提案

缶バッジによる障がい者就労支援

2023年8月28日 神奈川県ビリヤード協会

1. プロジェクトの背景

1.1. ハコポンプロジェクトの概要

ハコポンプロジェクトは、障がい者の就労支援を目的として立ち上げられた取り組みです。このプロジェクトでは、缶バッジの販売を通じて障がい者の就労の場を提供・拡大しています。

1.2. 神奈川県ビリヤード協会への提案内容

神奈川県ビリヤード協会において、加盟店舗に缶バッジの販売をお願いする形での提案が寄せられました。

2. 社団法人日本ビリヤード協会 (N.B.A.)の役割と歴史

2.1. 歴史

公益社団法人日本ビリヤード協会(N.B.A.)は、もともとは「社団法人日本ビリヤード協会」として設立されました。その後、経年を経て公益社団法人へと変更されました。この変更は、協会が持っている社会的な責任と役割をさらに明確にし、一層の社会貢献を目指す方向性を明らかにするためのものでした。

2.2. 公益活動と社会貢献

公益という言葉が名前に冠されて以降、N.B.A.は、ただビリヤードスポーツの普及や育成だけでなく、社会貢献や社会福祉活動への取り組みを強化しています。これには、障がい者ビリヤードの普及や、ビリヤードを通じた地域社会との連携、さらには各種チャリティ活動などが含まれています。

ハコポンプロジェクトとの関わりにおいても、N.B.A.は、スポーツを通じた社会貢献の一環として、障がい者の就労支援や社会の循環型の構築に積極的に協力しています。このような活動は、N.B.A.の活動目的とも深く合致しており、ビリヤードを愛する多くの人々や関係者と共に、より良い社会を築いていくための一環となっています。

3. 日本車椅子ビリヤード協会との連携の重要性

特定非営利活動法人日本車椅子ビリヤード協会(JWBA)は、障害者と健常者、高齢者と若者の共生をテーマに掲げています。N.B.A.とJWBAの連携は、ビリヤードの普及を通じて、社会的な取り組みの推進や障害者の社会参加の促進に寄与するものと考えられます。

日本車椅子ビリヤード協会 (Japan Wheelchair Billiards Association)
<http://www.jwba.jp/index.html>

4. ハコポンプロジェクトの特色: バンクシー・グラフィティー缶バッジコレクション

4.1. バンクシー・グラフィティー缶バッジコレクション

イギリスの著名なアーティスト、バンクシーのグラフィティアートがデザインされた「バンクシー・グラフィティー缶バッジコレクション・シリーズvol.1」が登場しました。全8種類の缶バッジはBRANDALISED™社のライセンス商品として販売されています。

特に注目すべき点は、缶バッジの裏面にシリアルナンバーとNFTが保存されていること。QRコードを読み取ることで、「感謝の証」というNFTを手に入れることができます。さらに、タッチすると特定のメッセージが表示される仕掛けも盛り込まれています。

このプロジェクトは、日本の障がい者就労自立支援を目的として、多くの企業や著名人との連携を模索しています。缶バッジのケースは限定数で別売りとして提供される予定です。



4.2. インフルエンサーとの協力

ハコポンプロジェクトには、約370名のInstagramインフルエンサーが協力しており、これにはフォロワーが3,000人以上いるインフルエンサーが含まれています。これらのインフルエンサーは、**#バンクシー** **#社会貢献** **#就労支援**などの社会的に注目の高いタグやキーワードを使用してプロジェクトをサポートしています。

4.3. エンドユーザー向けの提供内容

エンドユーザーは、様々なアーティストとのコラボによる限定グッズを購入できます。これらのグッズには、オリジナルNFTへのアクセスを可能にするQRコードがついています。NFTは将来的にNFTマーケットでの販売や、メタバースでの展示・使用が期待されています。さらに、これらの商品の利益の一部は、プロジェクトに関与するすべての人たちに還元される仕組みとなっています。

4.4. プロジェクトの大きなビジョン

ハコポンプロジェクトは、様々なアーティストや著名人とのコラボによる限定グッズの制作を障がいを持つ方々に委ねることで、健常者やビジネスオーナーとの協力のもと商品を販売しています。このプロジェクトの背後には、ダイバーシティの実現と循環型の社会作りを目指すビジョンがあります。その中心として、SDGsへの参加を推進しています。

4.5. ハコプロメンバーとしての活動

プロジェクトの一員として、参加者はSNSでのシェアや地域に密着した活動を通じて、ハコポンプロジェクトを支援することが期待されています。特にインフルエンサーは、地域のアンバサダーとしての役割を果たし、その地域での連携や集客を促進しています。

ハコポンプロジェクト <https://www.hakopro.comeluck-aichi.com/>

5. 実行計画の策定

5.1. 日本ビリヤード協会から各支部へのアナウンス方法

メールやホームページやFAXを利用して、全国の支部にプロジェクトの趣旨と参加方法を周知します。

5.2. 加盟店舗へのアナウンス方法

協力店舗への直接訪問や、メーリングリストを利用しての情報発信を行います。

5.3. ビリヤード専門雑誌「Cue's」への掲載提案

「Cue's」の編集部と連絡を取り、特集記事や連載を通じてプロジェクトの情報を拡散します。

5.4. ビリヤード系YouTuberとのコラボレーション

人気のビリヤード系YouTuberと連携し、動画コンテンツを通じてプロジェクトの魅力を伝えます。

5.5. 全国展開のステップとタイムライン

最初は主要都市からのスタートとし、順次、地方都市への展開を図ります。具体的なタイムラインは後日策定予定です。

6. まとめと今後のステップ

ハコポンプロジェクトは、障がい者の就労支援を目的とした取り組みとして、全国のビリヤード関連団体やメディアと連携し、さらなる展開を図ってまいります。今後のステップとしては、具体的な実施計画の策定や協力団体との連絡調整が進められる予定です。

参考

バンクシーとは
バンクシーは、イギリスを拠点とする素性不明のアーティスト、政治活動家、映画監督です。世界各地のストリート、壁、橋などに、ステンシルを用いたグラフィティ・アートを神出鬼没に残しています。その作品は、政治や社会問題を風刺的に描いたものが多く、世界中の人々から注目を集めています。
代表作としては、

- 「花束を投げるテロリスト」
- 「ジャングルの法則」
- 「少女と赤い風船」
- 「落ちるまで買い物をする」
- 「シリア移民の息子」

などが挙げられます。
バンクシーは、その正体や活動場所が謎に包まれており、そのミステリアスな魅力も人気の一因となっています。バンクシーのすごいところは、

- ステンシルを用いたグラフィティ・アートを世界中に広めた
- 政治や社会問題を風刺的に描いた作品で、人々の意識を喚起した
- 匿名性を貫き、常に新しい挑戦を続けている

などが挙げられます。

バンクシーは、現代アート界で最も影響力のあるアーティストの一人と言えるでしょう。

日テレニュース

<https://news.ntv.co.jp/category/society/d825e36ee6234b0596b41826dfe71770>

Yahoo! ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2996977850a293c8eee795d70513426cd8d33551>